

高原図鑑

PLATEAU PICTORIAL BOOK



写真：獅子戸岳から望む新燃岳と高千穂峰（撮影：令和元年5月29日）

獅子戸岳

獅子戸岳 標高1,429m

新燃岳から最も近い山

えびの高原からの登山で最も人気の高い韓国岳。新燃岳噴火以前は、さらに南下し獅子戸岳、新燃岳、中岳を縦走して高千穂河原までのロングコースを楽しむことができました。

噴火警戒レベルが1であれば新燃岳から約1kmの獅子戸岳を登山することができず。韓国岳から約1時間30分ほどで登頂。目の前には大迫力の新燃岳の火口、右手には2018年の噴火で流れ出し冷え固まった分厚い溶岩、眼下には噴火の影響で枯れた木々と噴石時が経過しても、噴火現象により地形や植生が大きく変化したことがよくわかります。しかし、その荒涼とした大地は、火山噴火と共に繁栄したミヤマキリシマには絶好の生息環境となっています。軽石の降り積もった栄養の少ない地表には、この10年でミヤマキリシマが繁栄し、5月下旬にはあたりを美しく染め上げます。獅子戸岳山頂からの景色はまさに「火山の脅威と恵み」を大パノラマで実感できる特別な場所となっています。

（文）えびのエコミュージアムセンター

霧島山の
めぐりめぐり
えびの
山と水、米と肉、温泉と四季のまち。



えびの市
LINE公式アカウント



えびの市広報
Facebook



「マチイロ」
マチを好きになるアプリ